

## e ラーニングの概要

### 1. e ラーニングとは

eラーニングとは、情報技術によるコミュニケーション・ネットワーク等を活用した主体的な学習である。

- 利用方法としては、以下の 3 通りがある。
  - 集合教育の全部または一部を e ラーニングで代替する
  - 集合教育と組み合わせて e ラーニングを利用する
  - e ラーニング単独で教育を実施する
- 学習者は、学習目的に従って作成された e ラーニング教材を使って学習する。
- また、eラーニングの提供者と学習者間、さらには学習者間の双方向性※1が確保された環境の中で学習する。

※1 双方向性：

ここでいう双方向性とは、学習を効果的に進めていくために、eラーニング提供者から学習者に対して、様々な教材が提示されることにより適切な教授がなされたり、提供者と学習者間、または学習者間で、双方向のコミュニケーションが実施されたりすることを指す。

参考：「eラーニング白書 2007/2008 年版」

(経済産業省商務情報政策局情報処理進行課編／東京電機大学発行)



e ラーニング画面例

## 2. eラーニングの実施に必要な主な事項

eラーニングを活用した教育を実施するには、以下の3つの事項について取り組む必要がある。

表 eラーニングの実施に必要な主な事項

	必要事項	説明
1	<p>学習管理システム (LMS) の導入</p> <p>LMS: Learning Management System</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>eラーニングを実施するにあたり、<b>教材の配信や、学習者の学習履歴、テストの成績などを統合して管理する「学習管理システム (LMS)」</b>を導入する必要がある。</li> <li>LMSを導入するにあたっては、どのような形態の教材を配信するのか、学習者の何をどのように管理するのかなど、eラーニング実施上の要件を明らかにする必要がある。</li> </ul> <p>※LMSが提供する主な機能(詳細)は次ページを参照</p>
2	教材の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>LMSを通じて学習者に提供するための <b>eラーニング用教材</b>を作成する必要がある。</li> <li>近年は、スライドや動画(ビデオ映像、アニメーション)、音声、文章を組合せた形態の教材が一般的である。</li> <li>学習者の理解度を確認する <b>テスト</b>も教材に含まれる。</li> </ul>
3	学習者への支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインによる教育が円滑かつ効果的に運営されるよう、<b>学習アドバイザー</b>や<b>案内係</b>といった学習者への支援体制を整備する必要がある。</li> </ul> <p><b>【学習アドバイザー】</b> 学習内容に関する質問への対応や、学習者のモチベーションを高めるための話題提供など、おもに学習者の学習を促進するための援助を総合的に行う者のこと。</p> <p><b>【案内係】</b> 教材の内容、使い方等に関する質問や要望に回答する者のこと。</p>

### 3. 学習管理システム（LMS）の主な機能

LMS の代表的な機能を以下に示す。

表 LMS の主な機能

	機 能	概 要
1	学習者管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個々の学習者の氏名、所属等の情報を登録・更新・削除する機能。</li> <li>• 学習者の学習の進捗状況や理解度等を管理し、学習への取組を支援するために活用する。</li> </ul>
2	グループ管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グループ単位で学習者を管理する機能。</li> <li>• 例えば、市町村など特定の団体が e ラーニングの受講を申し込むことにより、組織単位で学習者を管理することができる。</li> </ul>
3	進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習プログラムの受講状況や、テストの成績などを学習者ごとに管理する機能。</li> </ul>
4	動画配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講師による説明などを撮影したビデオ教材を配信する機能。</li> <li>• 教科書を読む学習に比べて分かりやすく、臨場感があるため、学習効果が高い。</li> <li>• 学習者のモチベーションの維持・向上にもつながる。</li> </ul>
5	スライド表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パワーポイント等のスライド教材を表示する機能。</li> <li>• 動画教材である講師説明と連動してスライドを表示することにより、より分かりやすい教材となる。</li> </ul>
6	マルチデバイス対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>• iPad 等のタブレットやスマートフォン等からでも e ラーニングが受講できるように配信する機能。</li> <li>• 空き時間で学習するなど、時間を効率的に使うことができる。</li> </ul>
7	テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テストの出題、回答、採点を行う機能。</li> <li>• 合格点の設定や、選択肢式・自由回答式などの幅をもたせた回答欄の設置も可能。</li> <li>• 合格点を設定することで、学習のやり直しを促すことができ、反復学習の効果が大きい。</li> <li>• テスト合格者に対し、修了証を発行する機能もある。</li> </ul>
8	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講座や運営等に関するアンケート調査の実施</li> </ul>
9	掲示板・チャット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習者同士、受講と講師が交流する機能</li> </ul>

#### 4. eラーニングを活用した学習の特性

一般的に指摘されているeラーニングを活用した学習の主な特性を、以下に示す。

- 場所、時間に制約なく受講できる。
- 自分のペースで、繰り返し学習できる。
- 動画やスライドを用いた教材は、教科書等の資料教材よりも、分かりやすく、理解がしやすい。
- 学習アドバイザーや学習者とのやり取りをすることで、学習内容の理解を深められ、また、学習意欲の維持・向上がはかれる。
- インターネットを介して、どのような学習者がどれだけ受講しているかを把握できる。
- 各学習者の学習進捗状況や理解度(テスト成績)等を一元的に管理できる。
- ワークショップや演習のような能動的な学習の提供は難しい。